

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで
つながろう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「地域、次世代と共に、
明るく!楽しく!!朗らか!!!に
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
2560地区ガバナー 大谷 光夫
高田ロータリー会長 高坂 光一
幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守
木村 隆

第26回例会 ■ 1月31日(金) ～ガバナー公式訪問～ No.26

会長挨拶 ● 高坂 光一



今日は皆さんが楽しみにしていた、大谷ガバナーを迎えたガバナー公式訪問です。最後まで宜しくお願い致します。

さて、本日(1/31)未明、WHOは新型コロナウイルス感染による肺炎(以下コロナ)について緊急事態宣言を出しました。この報道に触れ、2009年の新型インフルエンザ騒動を思い出しました。あの時も4月後半WHOが緊急事態宣言を出したという記事が小さく掲載されました。当初関心は低いものでしたが、GW直前いきなりフェーズ5が発表され混乱が始まり、GW明けには手を付けられない状態になりました。今回も様々な情報が巡っています。複数の情報をご確認ください。

当社も日常的に取り扱うマスク、あまり言いたくありませんが、街中でみかけるサージカルマスクは咳エチケットならともかく感染予防には効果があるとはいえません。N95100マスクは、残念ながら一般の方は殆ど正しく装着ができないのでこれも役に立ちづらいかと。とりあえず、正しい手洗い・手指消毒の徹底、不要不急の人混みは避ける、咳エチケット等、身近でできる対応をお願いします。特に眼鏡をかけている方にとって手指消毒は大切な予防対策になると考えます。ご安全に。

いずれにしても、早期収束し東京オリンピックが無事開催されるよう願います。

出席報告

出席率 100%

ビジター

第2560地区ガバナー 大谷光夫君
第2560地区地区幹事 本山秀樹君
高田RAC会長 藤巻将人君

セレモニー

高田さくらロータリー衛星クラブ入会式



米山記念奨学金贈呈: 周 勝男さん

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

大谷光夫ガバナー——12月の公式訪問日を私の身勝手から本日に移動させていただき申し訳ありませんでした。
大島 誠君——この度、警察ボランティアとして表彰されました。

飯塚宏佳君——昨日、長女がメンバーに入っているユニットがCDデビューいたしました。期間限定なので1枚だけのリリースになると思いますが、記念ですのでスマイルします。

社会奉仕委員会——2/7オークションのご案内
大島会長エレクト——2020-21年度委員会組織について

高田さくらロータリー衛星クラブ 庄山幹事——3月15日発足式について

幹事報告

配布物：週報No.25、2020-21年度委員会組織表、米山奨学・ロータリー財団寄付金領収書、抜粋のつづり、ロータリーの友2月号

回覧物：新会員推薦カード、高田自衛隊広報「妙高」1号

報告：2/7オークション、2/14振替休会日、2/28合同例会（夜例会）

ガバナー講話



まずもって、私の身勝手から訪問日の移動をお願いいたしまして、お詫び申し上げます。そして10月26・27日に行われました第2560地区地区大会で高田RCの皆様から大きなお力を賜りまして、御礼申し上げますとともに大変感謝をしております。

地区大会後にもクラブ訪問や各種会合に出席するたびに、糸魚川地区から始まった第7分区の地区イベントは素晴らしい、特に地区大会は気配りが行き届いた素晴らしい大会だったとおほめ頂いており、渡辺RI会長代理からも私の記憶の中では1・2位を競うほどの大会でしたとおほめ頂き、大変嬉しい思いをさせていただいております。ひとえに高田RCはじめ第7分区8ロータリークラブの皆様の方の結集がそうさせているのだと思っておりますし、第7分区推薦のガバナーとしてこれほどうれしいことはございません。まさにガバナー冥利に尽きます。本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さて、高田RCは1955年地区内5番目の創立で64年経過されております。大島精次様、東山昶也様をガバナーに輩出され、当地区推進のためご尽力賜りました高田ロータリークラブの皆様にご敬意を表すとともに、御礼申し上げます。今後も引き続き2560地区の発展のため、ご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。そして毎年のようにクラブから地区に出向いただいておりますことに感謝いたしております。

今日は、RIの方針の説明を役目上させていただきます。RIは各地区と各ロータリークラブに変化を求めています、ロータリーの基本は

ポールハリスが知らない人たちと交わりたいとの心情から親睦と友情を深められ、安心してビジネスもしたいと言うことで1905年ロータリーを創立させました。年々変化するRIの方針は方針として例会出席なくして親睦なし、親睦なくしてビジネスも奉仕もありません。2560地区56RCは現在も出席を重視されており、現況報告書に載せて、例会出席を大事にしているのだと思います。本日は時間が余りましたら44年前のロータリーへの入会時と例会出席と親睦はどうだったかお話しさせていただきます。受け取り方は各位それぞれだと思いますが、参考にしていただければ幸いです。

おかげさまで、第1～第6分区までクラブ訪問が無事終了しました。どのクラブも変革、柔軟性、多様性に富んだクラブ運営をされております。5人しか会員がいなくても、きちんと週一回例会をし、ロータリーライフを楽しくさせているクラブ。定款、細則委員会があり、常にクラブ細則を変化させているクラブ。合同例会を初の試みとして導入したが、案ずるより結果は良かったので、継続検討されるクラブ。ライラを担当して今以上にまとまったクラブ。米山奨学生と地元中学生との対話会を10年も継続させているクラブ。20人に満たなくても地域に溶け込んでロータリークラブのイメージアップに貢献しているクラブ。自クラブからミセスジャパン、ミセスインターナショナルを輩出応援しようと活動しているクラブ。例会方法も活動方法も56通りあって、それぞれがロータリーンの根幹である仲間づくりとなって意志を同じにした団体となっていることを、五体で感じてまいりました。